

「微分積分」2 章 2.4 節の正誤表 (2021 年 7 月 15 日現在)

第 7 刷までの正誤表

頁	場所	誤	正
p.66	下から 7 行目	関数 $y = f(x)$ について, ある区間で $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) < f(x_2)$ (つまりグラフが右上がり) となるとき, $f(x)$ は単調増加である, あるいは $f(x)$ は増加するという. 逆に $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) > f(x_2)$ (つまりグラフが右下がり) となるとき, $f(x)$ は単調減少である, あるいは $f(x)$ は減少するという.	関数 $y = f(x)$ について, ある区間で $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) < f(x_2)$ (つまりグラフが右上がり) となるとき, $f(x)$ は狭義単調増加である, あるいは $f(x)$ は増加するという. 逆に $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) > f(x_2)$ (つまりグラフが右下がり) となるとき, $f(x)$ は狭義単調減少である, あるいは $f(x)$ は減少するという. これに対し, $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) \leq f(x_2)$ となるとき, $f(x)$ は(広義)単調増加であるという. 同様に, $x_1 < x_2$ ならば $f(x_1) \geq f(x_2)$ となるとき, $f(x)$ は(広義)単調減少であるという.